

# かけがえのない農地を守り・活かし 耕作放棄地の解消を目指す!!

桜井市農業委員会

## 1. 市町村の農業の概要

桜井市は奈良盆地の中央東南部に位置し、東西11.9km、南北16.4km、面積98.92km<sup>2</sup>、その60%が山間部で奈良県の総面積の2.7%を占めています。

桜井市の農業は水田農業を中心として、きゅうり・なす・大根・いちご等の野菜栽培や東部山間地域はシイタケやソバの生産に力を入れています。

## 2. 農業委員会の取り組み

### ①農地パトロールの実施について

- ・ 9月から11月にかけて農業委員会では農地の利用状況の確認や違反転用の早期発見に向けて農地パトロールを実施しました。

平成20年の耕作放棄地調査をもとにすると、その結果、

}	田	3597m <sup>2</sup> の解消
	畑	33057m <sup>2</sup> の解消
合 計		36654m <sup>2</sup> の解消が確認できました。

解消は個々の農家の方が管理・耕作してくれたものであるため、所有者や不在地主等も多い状況では将来的に引き続き耕作をしていくというのがなかなか難しいことが予想されます。



そのため、農業委員会ではホームページや農業委員会だよりなどで農地の貸したい方や借りたい方を募集しています。

とくに農地を借りたい方については、農地の場所や賃貸料等の借りたい方の意向になるべくそえるように農業委員や地域の支部長のご協力を得て農地の紹介を行っています。

これからは、地域の実情に応じた市民農園等の開設や景観保全作物など将来的に管理が継続できるような新しい耕作放棄地の解消についてもすすめていく必要があります。

## ②農業者年金加入の促進

専業農家の数が減少し会社員などで兼業農家が増えている現代においては、農業者年金の加入を勧めることができる農業者数も少ないため、農業者年金の新規加入者の獲得はなかなか難しいのが現状です。

桜井市の農業者年金加入推進活動計画では新規加入者の目標を3人と定めています。平成22年6月に新たに1人農業者年金に加入してもらうことができましたが、目標の達成までは農業者年金についての周知や制度説明及び加入促進活動がまだまだ必要であります。

おもな活動としては、

- ・ J A の青壮年部の集会でパンフレットの配布及び制度説明
- ・ 産業まつりにおいて相談窓口を設け、パンフレットの配布及び制度説明

を行うなどのあらゆる機会を通じて、農業者年金の加入促進のPR活動を行っています。

